



未来へ 恵比寿へ 飛躍する長谷戸小

ながやと

教 育 目 標
学 び を 楽 し む 子
人 を 大 切 に す る 子
挑 戦 す る 子

続・信頼の絆

校長 小山 努

いつも本校へのご支援とご協力をありがとうございます。過日新聞にて、兵庫県立大学の竹端寛教授のインタビュー記事を目にしました。子育てはもちろん、教育や保育、看護や介護等「ケアする側」にすることが多い私たちが、どのように「ケアされる側」との関係を築くべきかについて深く考えさせられました。その内容を一部ご紹介いたします。

まず、竹端教授は、育児を通じて「親も子どもからケアを受けている」と気付いた経験を語っています。当初育児を始めた頃は「親は子供をケアしてあげているのだ」「ケアしているのだから子供は従うべきだ」と思っていたけれども、徐々に「ケアする側とされる側の平等な関係、相互依存的な関係が大切であり、共にいる時間がその基盤を築く」と述べています。この、一見無駄に思える「共にいる時間」についても、実は子どもとの大切な絆を育む時間であり、「子供と一緒にいる」「ちょっと声をかけたりかけられたり出来る存在」であることが大切だということです。

一方で、家族や学校、地域、職場でこのような「ケアし合う関係」「相互依存的な関係」を広げようとする、多様な考えをもつ他人同士で、相容れない場面も生じると思います。そんな時には、異なる考えをもつ人々と、お互いの思いをざっくばらんに語り合う「違いを知る対話」に時間をかけるとよいということです。相手の主張が自分と合わない場合でも、相手がなぜそう考え、そう話しているのかを「理解しよう」とすることが、実は相手とつながる第一歩になる。他者の意見を理解しようと努めることで、より深い信頼関係が築くことができると示唆されています。

加えて、竹端教授は、私たちが直面する問題として「完璧に分かり合えない他者を相手にするわけですから、子どもとはいえ、一人前に自分の思いをグイグイぶつけてきます。親としては理解するより、無条件で受け入れてしまったり、強制的に従わせたくなくなったりする時があります。」と、ケアする側にありがちな葛藤があることにも言及されています。しかし、そうした葛藤が最大化する場面こそ、実は、子どもの他者性と出会い、理解できる最大のチャンスである。また、「この人にこう表現したら、実は自分のことをより深く理解してくれるかもしれない」という子供の自己表現であると捉えていくよう警鐘されています。

教職員は、児童の「心のケアをする側」として、日々子どもにとって安心できる教育環境を整えるために対話の力、信頼の力を高めようとしています。（研修の内容は、学校だより1月号にてもご紹介しております）多様な児童もまた、お互いに「違いを知る対話」を繰り返す中で、日々学び合い、喜び合えるように頑張っています。

いよいよ立春、節目の時節を迎えます。児童一人一人が、学校でも、ご家庭でも、安心して学習・生活できるようになってほしいと願ってやまない2月のスタートです。ご家庭、地域の皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

※12月にご協力をいただきました「令和7年度保護者アンケート」結果につきましては、1月末日にホームページおよびH&Sにて配信いたします。どうぞご覧ください。皆様のご意見は、令和8年度教育課程編成に反映してまいります。ありがとうございます。

日	曜	行 事 等	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	日							
2	月	全校朝会 委員会	5	5	5	5	6	6
3	火	音楽鑑賞教室⑤	5	5	6	6	6	6
4	水		4	4	4	4	4	4
5	木	避難訓練	5	6	6	6	6	6
6	金		5	5	5	6	6	6
7	土							
8	日							
9	月	クラブ	5	5	5	6	6	6
10	火		5	5	6	6	6	6
11	水	建国記念日						
12	木	薬物乱用防止教室⑥	5	6	6	6	6	6
13	金		5	5	5	6	6	6
14	土	土曜日授業公開 道徳地区公開講座:3校時 特別時程 下校 11:20	3	3	3	3	3	3
15	日							
16	月	体育朝会	5	5	5	5	5	5
17	火	安全指導	5	5	6	6	6	6
18	水	特別時程 清掃なし 下校 12:50	4	4	4	4	4	4
19	木	銀行見学⑥	5	6	6	6	6	6
20	金		5	5	5	6	6	6
21	土							
22	日							
23	月	天皇誕生日						
24	火		5	5	6	6	6	6
25	水	5時間授業(マイプロ)下校 14:30	5	5	5	5	5	5
26	木	たてわりお別れ会	5	6	6	6	6	6
27	金		5	5	5	6	6	6
28	土							

1	日						
2	月	全校朝会 委員会	5	5	5	5	6
3	火	5時間授業 移杖式(5校時) マイプロジェクト発表会(2・3校時) 保護者会(全学年)14:30～	5	5	5	5	5
4	水	集会(ボードゲームクラブ発表)	4	4	4	4	4
5	木	6年生を送る会 (1・2校時)	5	6	6	6	6
6	金	避難訓練	5	5	5	6	6

●2月の生活目標

『気持ちのよい

あいさつをしよう』

ながやと4つの「あ」

「あ」いさつ 「あ」つまり
「あ」としまつ 「あ」んぜん

とても寒い日がまだまだ続いています。2月は省エネ月間です。しかし、省エネは「効果が見えにくい」ため、行動するのが難しいと感じます。電気をこまめに消しても、翌日に劇的な変化があるわけではなく、数値としての実感も得にくいからです。さらに、家庭や学校では通常通りの制限のない生活を送ることができているので、つい「今のままでも困らない」という心理が働き、省エネの必要性を認識しにくくなってしまいます。

一方で、私たちが日々便利に利用しているデジタル技術も、実は目に見えないエネルギーと水を大量に消費しています。近年の研究では、もし生成AIを全世界の人々が日常的に使うようになると、データセンターの冷却などに膨大な水資源が必要となり、地域的な水不足を引き起こす可能性があると言われているそうです。

省エネ月間をきっかけに、少し「見えない消費」に目を向けてみようと思います。一人ひとりの小さな工夫は、すぐに実感できなくても必ず積み重なり、未来の環境を守る大きな力になっていくとよいですね。

副校長 柴田芳作

お知らせ

■土曜日授業公開・道徳地区公開講座
14(土)

土曜日授業・学校公開日にあわせ、保護者の皆さまに“渋谷区の教育”と“長谷戸小の特色ある探究学習”をよりわかりやすくお伝えし、共にワイワイ語り合う時間「ながやと教育懇談会」を設けました。詳しくは別途H&Sで配信の案内をご覧ください。

◆欠席連絡について
8時00分までにHome & schoolにてお知らせください。

◆遅刻や早退について
遅刻や早退の場合は、必ず保護者の付き添いをお願いします。
◇来校証について
配布した来校証の**オレンジのライン下**に**記名をお願いします**。来校時は必ず着用をお願いいたします。

